

令和7年4月9日
中部地方整備局

「災害に強いまちづくりガイドライン」改定 ～内水氾濫に対応したまちづくりのポイントを追加～

中部地方整備局では、南海トラフ地震をはじめとする中部圏で起こりうる自然災害に対し、地方公共団体の安全なまちづくりの取組を支援するため、令和4年に地震・津波に関する「災害に強いまちづくりガイドライン」を策定し、その後、頻発・激甚化する風水害にも対応するため洪水氾濫（外水）編、土砂災害編を追加しガイドラインを改定してきたところです。

今回は、能登半島地震の被害を反映した「地震計画編」の更新に加えて「内水氾濫」に対応した災害に強いまちづくり計画立案のポイントや取組事例を追加して改定しましたので、お知らせします。

今後も順次内容の充実を図りながら、中部地方整備局管内地方公共団体の防災・減災の取組をより一層支援して参ります。

○主な更新内容

- **【地震計画編】の更新**
 - ・能登半島地震の被害を反映して地震に対応する計画策定時のポイントを更新
- **【内水氾濫計画編】の追加**
 - ・内水氾濫に対応する計画策定時のポイントを新規掲載
- **【内水氾濫実践編】の追加**
 - ・内水氾濫に対する取組事例を新規掲載

○掲載先

中部地方整備局HP 建政部「災害に強いまちづくり」で公表しています。
https://www.cbr.mlit.go.jp/kensei/machizukuri_saigai.html

○添付資料

別紙-1 「災害に強いまちづくりガイドライン」について

別紙-2 「災害に強いまちづくりガイドライン」改定版 目次

○配布先：中部地方整備局記者クラブ

【問い合わせ先】

建政部都市整備課

課長 後藤 直紀

課長補佐 加藤 練志

電話 (052) 953-8573

●平成26年2月 「地震・津波災害に強いまちづくりガイドライン」とりまとめ

東日本大震災を受け、南海トラフ巨大地震に対して中部圏の各市町村の地震・津波災害に強いまちづくりへの取組の促進を図るため、学識経験者、地方公共団体、中部地方整備局等で構成する「地震・津波災害に強いまちづくり検討委員会」を設置し、平成24年度～平成25年度において、委員会・意見交換会を開催し、地震・津波災害に強いまちづくりを目指した計画立案や整備実施を行う際の着目点・留意点をガイドラインとしてとりまとめ。

大規模地震・風水害の発生

- H28年度 熊本地震
- H30年度 大阪北部地震、北海道胆振東部地震
- H30年度 平成30年7月豪雨
- R2年度 令和2年7月豪雨 ……など

防災・減災に係る施策の変化

- 立地適正化計画への防災指針の策定
- 流域治水プロジェクト
- 総力戦で挑む防災・減災プロジェクトの発表 ……など

●令和4年4月 「災害に強いまちづくりガイドライン」として再整理

ガイドラインに反映する防災・減災施策の把握、災害に強いまちづくりの取組推進のため中部地方整備局管内自治体へのアンケート調査やヒアリングを実施し、推進したい取組内容や必要としている支援策等を把握したうえで、ガイドラインを「計画編」と「実践編」の2部構成にとりまとめ。想定災害は「地震」、「津波」。

●令和5年5月 「洪水氾濫」を追加

●令和6年4月 「土砂災害」を追加

●令和7年4月 「内水氾濫」を追加

「内水氾濫（計画編・実践編）」を掲載。内水氾濫に強いまちづくり計画検討に係るポイントを示すとともに、取組事例を多数紹介。

5-2-2 内水氾濫に強いまちの整備

◆内水氾濫に強いまちの整備のポイント

- ①内水氾濫発生箇所及び下水道施設への被害の把握
- ②被害を防ぐ・減らす施策の検討
- ③被害を軽減する土地利用方針の検討

把握方法	把握できる情報
ハザードマップ	・ 都市計画決定（指定用途）内河川沿川沿地が洪水にさらされる特定用途区域が判別可能
雨水浸水想定	・ 雨水浸水想定（内水）発生箇所が判別可能
下水道施設	・ 下水道施設（下水道）の位置が判別可能
土地利用	・ 土地利用（用途）が判別可能

浸水・浸潤の種類	対応策
浸水	・ 浸水の発生を抑制する（雨水貯留・浸透）
浸潤	・ 浸潤の発生を抑制する（雨水貯留・浸透）

内水氾濫に強いまちづくりのポイント(計画編)

実践編 内水氾濫

自治体	人口	面積
津市	274,537人	711.16k㎡
松阪市	159,145人	623.58k㎡

内水氾濫に対する取組事例(実践編)

●今後も中部地方整備局管内で想定される災害に対応し、順次内容の充実を図っていきます。

「災害に強いまちづくりガイドライン」改定版 目次

太字網掛け箇所：新たに更新・追加した項目

編	目次
一	はじめに 1. 災害に強いまちづくりガイドライン策定の背景 2. ガイドライン策定の目的と利用方法 3. ガイドラインの構成と使い方 4. 中部圏で想定される自然災害 5. 中部圏における災害に強いまちづくりの取組経過
計画編	第1章 災害に強いまちづくり基本事項 1-1 災害に強いまちづくりの進め方 1-2 災害に強いまちづくりの基本認識 1-3 災害に強いまちづくり計画策定方法 1-4 自助・共助の地域防災力の向上 1-5 早期回復するまちづくり 1-6 災害に強いまちづくりへのデータの活用 1-7 防災性の向上を示す指標の設定
	第2章 地震に強いまちづくり 2-1 中部圏で想定される地震被害 2-2 地震に強いまちづくりのポイント
	第3章 津波に強いまちづくり 3-1 中部圏で想定される津波被害 3-2 津波に強いまちづくりのポイント
	第4章 洪水に強いまちづくり 4-1 中部圏で想定される洪水被害 4-2 洪水に強いまちづくりのポイント
	第5章 内水に強いまちづくり 5-1 中部圏で想定される内水被害 5-2 内水に強いまちづくりのポイント
	第6章 土砂災害に強いまちづくり 6-1 中部圏で想定される土砂災害 6-2 土砂災害に強いまちづくりのポイント
実践編	1 地震・津波
	2 洪水氾濫
	3 内水氾濫
	4 土砂災害
参考資料	1 立地適正化計画防災指針に関する参考資料
	2 用語集